



2017
12.2 土 14:00-18:00

第二回 シンポジウム

【プログラム】

- 14:00-14:10 床呂郁哉 (AA 研) 趣旨説明
- 14:10-14:40 山口真美 (中央大学文学部)
多文化をつなぐ顔と身体表現
- 14:40-15:10 渡邊克巳 (早稲田大学理工学術院)
潜在的な顔身体コミュニケーションと個人差
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20-15:50 高橋康介 (中京大学心理学部)・島田将喜 (帝京科学大学生命環境学部)・
大石高典 (東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター)・
錢琨 (九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)
続・顔と身体表現の多文化比較フィールド実験研究
- 15:50-16:20 田中みわ子 (東日本国際大学健康福祉学部)
身体表現にみる眼差しのダイナミクス—障害をめぐる文化的差異に着目して
- 16:20-16:50 小手川正二郎 (國學院大学文学部)・國領佳樹 (立教大学文学部)
顔身体現象学—概要と展望
- 16:50-17:00 休憩
- 17:00-18:00 総合討議

【お問い合わせ先】
AA 研担当事務局 infokj@tufs.ac.jp

入場無料
事前登録不要

顔 の 身体学 構築

トランスカルチャー
状況下における

【会場】 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研)
303 号室
アクセス (府中キャンパス) は下記 URL 内をご参照ください
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/about/access>

科学研究費補助金事業「新学術領域研究 (研究領域提案型)」 「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築—多文化をつなぐ顔と身体表現」

基幹研究「アジア・アフリカにおけるハザードに対処する『在来知』の可能性の探求—人類学におけるミクロ・マクロ系の連関 2」 共催

